

令和6年度 全国国立大学附属学校連盟・調査委員会「附属学校園の課題等に係る調査」(依頼)

調査委員会では昨年度、調査結果の活用を重視し、「先生方が働きやすく、生活しやすくなるための情報の集約・活用」をねらいとして調査をいたしました。先生方の業務環境の改善、学級定員、連携・支援体制に係る大学や教育委員会との連携、入試、公開研など、多岐に渡る項目のある調査実施にご協力いただきました。

今年度は昨年度調査を受け、以下のような形で調査項目を精選し、調査を実施いたします。なにとぞご協力の程、お願いいたします。

- 1 学校の負担にも配慮し、調査項目を絞り、必要に応じて補足・追加の調査項目を設ける。
- 2 同じような結果になると思われるあまり発展性がない項目の洗い出しを行い、経年で追う必要性があると思われるものについては調査項目を継続していく。
- 3 子どもたちのWell-being実現を支えるのために必要な教員の業務環境づくりに資するという点について重視するとともに、附属学校園の地域への貢献が強く求められていることから、貢献の度合いを定量的に示すために必要な項目を新たに追加する。

【回答していただくにあたっての留意点】

※調査に先立ち調査委員会では回答のシミュレーションを実施しました。その結果、入力に係る時間(目安)は、単純に質問項目を読んで入力するだけならば、30分から1時間程度となりますが、以下の点にご注意ください。

- 1 回答するにあたり調べないと回答できない項目が複数あります。従って、そのような点を考慮すると実際には2～3時間程度かかると考えられます。
- 2 **回答する際に、最初に取りかかっていたいただきたいこと**は以下の項目に関する調査です。この調査は教員一人一人が回答したものを集計していただく必要があるため、一定の期間が必要となります。集計の負担を減らすために、別添の2つのファイルをご活用ください。PDFファイル(02_地域貢献に係る調査のお願い)を個々の教員に必ず配布していただき、エクセル表(03_地域貢献に係るデータ集計表)を共有データとして扱い各教員が直接入力するか、集めた各教員のデータを回答者がエクセル表に入力して総計を算出し、フォームに入力していただければと存じます。なお、エクセル表の提出は不要です。

PIIの“【5】地域との連携、地域貢献”の項目について

5. **令和5年度**に4の地域貢献活動のため実際に関わった回数の総計(延べ数)を半角数字で記入してください。

※1つの研修会や会議等に2人の教員が関わった場合は“2”とカウントします。

※令和5年度の非常勤教員(専任でない教員)・管理職及び令和6年度に人事異動(転入・転出・R5未退職)をした教員を除く教員全員の延べ数を合計してください。

総計()件

6. **令和5年度**に4の地域貢献活動のため実際に関わった全教員のおおよその総時間を半角数字で記入してください。

※1つの研修会や会議等に2人の教員が関わった場合はそれぞれの時間を計上します。

※活動に要したおおよその準備時間も含めてください。

※令和5年度の非常勤教員(専任でない教員)・管理職及び令和6年度に人事異動(転入・転出・R5未退職)をした教員を除く教員全員の総時間数を算出し入力してください。

※分単位の扱いについては30分以上の場合切り上げるように各教員にご指示ください。

(例) 20時間40分→21時間 19時間25分→19時間

総計()時間

【回答期限等】

令和6年12月20日(金)

回答フォーム(グーグルフォーム)によりご回答ください。

【回答フォームURL】

https://docs.google.com/forms/d/1lp5eFU07ZRdugD2OLCa_ZzzzTvk-TgTo-xhI-MXRvNg/edit



【お問い合わせ】 ※不明な点がございましたら,下記までご連絡くださいますようお願いいたします。

埼玉大学教育学部附属中学校 関口 睦

Mail: msekiguchi@mail.saitama-u.ac.jp Tel 048-862-2214(代表)

【調査票・調査項目】

- 0-1. 学校番号（別紙参照）を記入してください。
- 0-2. 校種を記入してください。
※幼 小 中 高 特支 義務（前期） 義務（後期） 中等（前期） 中等（後期） など
- 0-3. 学校名と記入された方の職名・お名前を記入してください。

【1】 附属学校と大学との連携について

調査項目

1. 校園長について、当てはまるものを選んでください。
①大学教員の兼担で専任ではない ②大学教員の兼担だが実質専任
③専任（大学教員の兼担ではない専任） ④その他
2. 副校園長について当てはまるものを選んでください。
①副校園長の配置はない ②副校園長は1名いる ③副校園長は2名以上いる
3. 教頭について当てはまるものを選んでください。
①教頭の配置はない ②教頭は1名いる ③教頭は2名以上いる
4. 附属学校園を統括し、運営上の課題について議論・対応する組織はありますか。
①ある ②ない
5. 4で①を選んだ場合の統括組織が具体的に対応している項目について選んでください。
（複数選択可）
①教育課程の管理 ②学校施設の管理・改善 ③人事管理 ④働き方改革 ⑤学校園内の連携
⑥附属学校園の教員の研修 ⑦生徒指導・トラブル対応 ⑧いじめ・不登校
⑨大学・学部との連携 ⑩教育委員会との連携 ⑪地域との連携 ⑫入学者選抜 ⑬研究の進め方
⑭その他
6. 大学に相談したいことで、必要性が高いものを選んでください。（複数選択可）
①産休・育休等の代替教員 ②要配慮児童生徒対応の加配 ③ICT等の支援員の配置
④いじめや不登校など児童生徒対応 ⑤保護者対応 ⑥地域との連携のあり方 ⑦研究の進め方
⑧その他

【2】交流人事等について

調査項目

1. 貴学校園における「大学採用の（交流・研修ではない）教員」の割合はどの程度ですか。（常勤の教員で大学採用の数）／（常勤の教員総数）×100で算出し、割合をご記入ください。
（ ）%

2. 交流人事での採用にあたって、人選や渉外（当人との交渉）は、実質どこが担当しますか。

①附属学校園教員が担当 ②教育委員会が担当 ③いずれの場合もあり ④その他

2-1. 「いずれの場合もあり」を選んだ場合、附属学校園教員が担当するおおよその割合を選んでください。

①20% ②40% ③60% ④80%

3. 人選や渉外を教育委員会が担当する場合、どこまで附属学校園の要望を実現してもらえますか。以下の各質問について、「①殆ど実現してもらえない ②あまり実現してもらえない ③分からない ④ある程度実現してもらえる ⑤ほぼ実現してもらえる」の5件法でご回答ください。

3-1. 教科や専門

3-2. 年齢層

3-3. 性別

3-4. 通勤距離

3-5. 経験等

要望事項を特に出していない場合は回答せずに、“3-6. その他”に具体的な内容をご記入ください。

3-6. その他（上記以外の要望事項で④⑤に該当する項目や要望とは別の視点で教育委員会に依頼している場合がありますら具体的にお書きください）

4. 交流人事の期間はどの程度でしょうか。該当が多い年数を選んでください。

（人数が同数の場合は複数選択可）

①3年未満 ②3年 ③4年 ④5年 ⑤6年 ⑥7年 ⑦8年以上

5. 大学採用・交流人事について、課題等に関して以下の点について記してください。

- ・大学採用又は交流人事を進める上で難しかった点やそれに対する工夫点について
- ・大学採用又は交流人事の停滞による問題点やその改善策
- ・大学採用ならではの困りごとや改善点
- ・交流人事ならではの困りごとや改善点
- ・その他

6. 交流人事について、教育委員会への要望がありましたら記してください。

【3】教員の勤務上の課題について
調査項目

1. 児童・生徒指導－「いじめ」について→**幼稚園は調査対象外となります。**

※R5年度に貴学校園で発生した、「いじめ」について以下の設問にご回答ください。データの取り扱いには慎重を期し、公になるのは統計的に処理した結果に限られますので、趣旨をご理解の上ご協力ください。

1-1. いじめの認知件数に付いて、①-⑤から選んでください。

①0 ②1~10 ③11~30 ④31~70 ⑤71以上

1-2. 警察に通報・相談した件数を、①-④から選んでください。

①0 ②1~3 ③4~9 ④10以上

1-3. いじめの実態把握のためのアンケート等の実施回数を、①-④から選んでください。

①行っていない ②年1回 ③年2~3回 ④年4回以上

1-4. いじめ防止対策推進法第28条第1項が規定する「重大事態」の件数を、①~④から選んでください。

①0 ②1~2 ③3~5 ④6以上

2. 行事や課外活動対応について

2-1. 学校行事の実施について、当てはまるものを選んでください。選択肢にない主な行事で、コロナ禍前よりも規模の縮小や削減を行ったものがあれば「その他」に記してください。

→**幼稚園もご回答ください。**（複数選択可）

- ①運動会／体育祭は平日開催
- ②運動会／体育祭は半日程度で実施
- ③運動会／体育祭は隔年開催
- ④運動会／体育祭の規模はコロナ禍前とほぼ変更なし
- ⑤文化祭（及び相当する発表会等）は平日開催
- ⑥文化祭（同）は半日程度で実施
- ⑦文化祭（同）は隔年開催
- ⑧文化祭（同）の規模はコロナ禍前とほぼ変更なし
- ⑨遠足等の学外引率行事の回数や規模を縮小
- ⑩その他（ ）

2-2. 部活動改革について取り入れているものを選んでください。一部の部活での先行実施でも構いません。（複数選択可）→**幼稚園・小学校は調査対象外となります。**

- ①外部指導者（部活指導員ではない）の任用
- ②部活動指導員の任用
- ③スポーツクラブとの連携（活動推奨含む）
- ④学生ボランティアの活用
- ⑤中体連等の大会参加取りやめ
- ⑥休日の活動時間削減（活動中止も含む）
- ⑦一部の部活動廃止
- ⑧全面廃止
- ⑨その他（ ）

2-3. 部活動改革について取り入れたいと考えているものを選んでください。(複数選択可)

→幼稚園は調査対象外となります。

- ①外部指導者(部活指導員ではない)の任用
- ②部活動指導員の任用
- ③スポーツクラブとの連携
- ④学生ボランティアの活用
- ⑤中体連等の大会参加取りやめ
- ⑥休日の活動時間削減(活動中止も含む)
- ⑦一部の部活動廃止
- ⑧全部活動の廃止
- ⑨その他()

2-4. 学校として将来的に、部活動はどのように位置付ければよいとお考えでしょうか。

→幼稚園は調査対象外となります。

- ①場所も含め学校とは切り離れた活動にする
- ②場所は提供するが外部指導者等を入れ、活動には教員は関わらない
- ③休日の活動のみ外部指導者等が入り、平日の活動は教員が何らかの形で関わる
- ④上記①や②を基本とするが、希望する教員がいれば認める
- ⑤教員の勤務時間を考慮し活動時間を短縮した上で継続
- ⑥部活動の数を減らし、活動日数は変えずに複数の教員が担当することで負担を減らす
- ⑦現状のままでよい
- ⑧その他()

【4】教員に対する支援体制

調査項目

1. 基本調査 1 に関しては令和5年度実績でご回答ください。

- 1-1. 産休・育休で休職した先生は何名いましたか。()人
- 1-2. 産休・育休で休職した先生の代替教員は何名任用されましたか。()人
- 1-3. 必要数の任用がなかった場合、その理由を教えてください。(複数選択可)
 - ①予算措置がなかった ②予算措置はあったが人がいなかった
 - ③元々学内配置で対応することになっていた ④その他()
- 1-4. 病休を取得した先生は何名いましたか。()人
- 1-5. 病休を取得した先生の代替教員は何名任用されましたか。()人
- 1-6. 必要数の任用がなかった場合、その理由を教えてください。(複数選択可)
 - ①予算措置がなかった ②予算措置はあったが人がいなかった
 - ③元々学内配置で対応することになっていた ④その他()
- 1-7. 支援を要する児童・生徒への補助教員等は何名必要でしたか。()人
- 1-8. 支援を要する児童・生徒への補助教員等は何名任用されましたか。()人
- 1-9. 必要数の任用がなかった場合、その理由を教えてください。(複数選択可)
 - ①予算措置がなかった ②予算措置はあったが人がいなかった
 - ③元々学内配置で対応することになっていた ④その他()

2. 専門家との連携

※支援が必要な児童生徒・家庭への対応には教師と異なる専門性や、児童福祉等を担う学校以外の機関と連携することも必要であることから、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、特別支援教育の支援ができる専門的な人材、日本語指導に係る支援員等の方が効果的に対応できる業務については、教師と連携しながら、これらの人材が中心となって担うべきである。(H30 中教審 学校における働き方改革特別部会 資料1より抜粋)

- 2-1. スクールカウンセラーの配置はありますか。複数の学校園で1名配置の場合も「あり」とします。
 - ①あり ②なし

※「2-1」で「②なし」の場合のご質問です。

- 2-1-1. その理由を教えてください。

※「2-1」で「①あり」を選んだ場合のご質問です。(2-1-1～6まで)

- 2-1-2. 週当たりの出勤回数(平均)を選んでください。
 - ①1回未満 ②1回以上 2回未満 ③2回以上 3回未満 ④3回以上 4回未満
 - ⑤4回以上 5回未満 ⑥5回以上
- 2-1-3. 望ましいと考える、週当たりの出勤回数を選んでください。
 - ①1回 ②2回 ③3回 ④4回 ⑤5回

2-1-4. 任用の財源として該当するものを選んでください。(複数選択可)

①運営費交付金 ②後援会費・委任経理金等 ③大学の特別予算 ④その他()

2-1-5. スクールカウンセラーによる支援が有効に作用した案件を選んでください。

(複数選択可)

①不登校 ②生徒指導に関わる問題行動 ③特別支援教育に関わる発達上の課題

④虐待が想定される事例 ⑤保護者からの相談

⑥教職員による生徒(指導)に関する相談 ⑦生徒からの相談 ⑧その他()

2-1-6. スクールカウンセラーによる支援を拡充するために必要なものを選んでください。

(複数選択可)

①予算 ②人手(なり手) ③学校側の受入体制整備 ④教員の時間的なゆとり

⑤その他()

2-2. スクールソーシャルワーカーの配置はありますか。 ①あり ②なし

※「2-2」で「②なし」の場合のご質問です。

2-2-1. その理由を教えてください。

※「2-2」で「①あり」を選んだ場合のご質問です。(2-2-2～6まで)

2-2-2. 週当たりの出勤回数(平均)を選んでください。

①1回未満 ②1回以上 2回未満 ③2回以上 3回未満 ④3回以上 4回未満

⑤4回以上 5回未満 ⑥5回以上

2-2-3. 望ましいと考える、週当たりの出勤回数を選んでください。

①1回 ②2回 ③3回 ④4回 ⑤5回

2-2-4. 任用の財源として該当するものを選んでください。(複数選択可)

①運営費交付金 ②後援会費・委任経理金等 ③大学の特別予算 ④その他()

2-2-5. スクールソーシャルワーカーによる支援が有効に作用した案件を選んでください。

(複数選択可)

①不登校 ②生徒指導に関わる問題行動 ③特別支援教育に関わる発達上の課題

④虐待が想定される事例 ⑤保護者からの相談

⑥教職員による生徒(指導)に関する相談 ⑦生徒からの相談 ⑧その他()

2-2-6. スクールソーシャルワーカーによる支援を拡充するために必要なものを選んでください。(複数選択可)

①予算 ②人手(なり手) ③学校側の受入体制整備 ④教員の時間的なゆとり

⑤その他()

2-3. 特別支援教育支援員の配置はありますか。 ①あり ②なし

※「2-3」で「②なし」の場合のご質問です。

2-3-1. その理由を教えてください。

※「2-3」で「①あり」を選んだ場合のご質問です。（2-3-2～6まで）

2-3-2. 週当たりの出勤回数（平均）を選んでください。

- ①1回未満 ②1回以上 2回未満 ③2回以上 3回未満 ④3回以上 4回未満
⑤4回以上 5回未満 ⑥5回以上

2-3-3. 望ましいと考える、週当たりの出勤回数を選んでください。

- ①1回 ②2回 ③3回 ④4回 ⑤5回

2-3-4. 任用の財源として該当するものを選んでください。（複数選択可）

- ①運営費交付金 ②後援会費・委任経理金等 ③大学の特別予算 ④その他（ ）

2-3-5. 特別支援教育支援員による支援が有効に作用した案件を選んでください。

（複数選択可）

- ①不登校 ②生徒指導に関わる問題行動 ③特別支援教育に関わる発達上の課題
④虐待が想定される事例 ⑤保護者からの相談 ⑥教職員自身の相談 ⑦その他（ ）

2-3-6. 特別支援教育支援員による支援を拡充するために必要なものを選んでください。

（複数選択可）

- ①予算 ②人手（なり手） ③学校側の受入体制整備 ④教員の時間的なゆとり
⑤その他（ ）

3. 代替及び加配の講師について

3-1. 産休・育休・病休の代替や、要配慮児童生徒対応等に対する加配について、大学へ要望を申請した場合の予算措置について教えてください。

- ①原則付けてもらえる ②付けてもらえない場合もある ③殆ど付けてもらえない

3-2. 予算が措置された場合の、人選の方法について教えてください。（複数選択可）

- ①大学が探す ②附属学校園教員が探す ③教育委員会等外部機関に依頼できる
④その他（ ）

3-3. 各都道府県の教育委員会は、代替、加配用の講師リストを作成しています。そのリストを、附属学校園の加配の際にも活用することについてご意見を伺います。

- ①是非活用させて欲しい ②活用できると有り難い ③どちらでも構わない
④あまり必要ではない ⑤全く必要ない

3-4. 貴校園が関係する教育委員会において、そのような対応の実現可能性を教えてください。

- ①既に対応実績がある ②頼めば対応してくれそう ③依頼してみないと分からない
④対応は難しそうだ ⑤既に断られた

【5】 地域との連携， 地域貢献

調査項目

1. 貴校園において、「学校運営協議会」もしくはそれに準ずる組織を設置していますか。

- ①はい ②いいえ

※1で「はい」の場合のご質問です。（1－3まで）

1－1. 従来の「学校評議員会」等との差異化は明確ですか。

- ①そう思う ②ややそう思う ③分からない ④あまりそう思わない ⑤そう思わない

1－2. 学校運営協議会の構成メンバーを選んでください。（複数選択可）

- ①教育委員会委員 ②PTA役員 ③元PTA役員 ④（PTA役員歴のない）卒業生
⑤元学校園長 ⑥地域の代表 ⑦学識経験者 ⑧学校園長 その他（ ）

1－3. 「学校運営協議会」を設置・運用しての課題等ありましたら記してください。

2. 都道府県教育委員会等が開催する研修のうち，（部分的にでも）担当しているものを選んでください。（複数選択可）

- ①担当なし ②初任者 ③2年次 ④3年次 ⑤5年経験者 ⑥中堅教諭資質向上 ⑦20年経験者
⑧その他（ ）

3. 地域貢献として実際に行っている活動を選択してください。（複数選択可）

- ①教育委員会主催の研修の担当
②公開授業研究会を研修機会として実施・活用
③研修・研究協力依頼への講師派遣・出前授業
④校内外研修の公開や授業公開による研修の機会の発信
⑤研究成果（紀要等）を分かりやすい言葉で発信
⑥地域の学校教育・家庭教育のシンクタンク・実践センター的な役割
⑦教科以外のいじめ問題への対応，生徒指導，基本的生活習慣の育成，学校マネジメントなどについての発信
⑧教育委員会・学校・教科団体等における地域の教育推進に係る会議等への出席
⑨その他（ ）

4. 地域貢献として重視している活動を選択してください。（複数選択可）

- ①教育委員会主催の研修の担当
②公開授業研究会を研修機会として実施・活用
③研修・研究協力依頼への講師派遣・出前授業
④校内外研修の公開や授業公開による研修の機会の発信
⑤研究成果（紀要等）を分かりやすい言葉で発信
⑥地域の学校教育・家庭教育のシンクタンク・実践センター的な役割
⑦教科以外のいじめ問題への対応，生徒指導，基本的生活習慣の育成，学校マネジメントなどについての発信
⑧教育委員会・学校・教科団体等における地域の教育推進に係る会議等への出席
⑨その他（ ）

5. **令和5年度**に4の地域貢献活動のため実際に関わった回数の総計（延べ数）を半角数字で記入してください。

※1つの研修会や会議等に2人の教員が関わった場合は“2”とカウントします。

※令和5年度の非常勤教員（専任でない教員）・管理職及び令和6年度に人事異動（転入・転出・R5末退職）をした教員を除く教員全員の延べ数を合計してください。

総計（ ）件

6. **令和5年度**に4の地域貢献活動のため実際に関わった全教員のおおよその総時間を半角数字で記入してください。

※1つの研修会や会議等に2人の教員が関わった場合はそれぞれの時間を計上します。

※活動に要したおおよその準備時間も含めてください。

※令和5年度の非常勤教員（専任でない教員）・管理職及び令和6年度に人事異動（転入・転出・R5末退職）をした教員を除く教員全員の総時間数を算出し入力してください。

※分単位の扱いについては30分以上の場合切り上げるように各教員にご指示ください。

（例）20時間40分→21時間 19時間25分→19時間

総計（ ）時間

7. 貴校の**令和5年度**の教員数を記入してください。非常勤教員（専任ではない教員）・管理職及び令和6年度に人事異動（転入・転出・R5末退職）をした教員は除きます。

※本調査項目は、5・6との関連で1人当たり何件（何時間）程度の地域貢献活動をしているかを算出するためにお尋ねしています。

（ ）人

【6】入園・入学選抜，公開研

調査項目

1. 入園・入学選抜の状況について

1-1. 以下の学校種・学年における、R6年度入園・入学選抜の「出願数」を教えてください。

1-1-1. 幼稚園は，年少，年中，年長の出願数を，下の学年から「半角数字カンマ区切り」で記してください。該当がない学年には「0」を入れてください。

(年少 55, 年中 23, 年長なしの場合 → 55,23,0)

1-1-2. 小学校，中学校，高等学校，中等教育学校，義務教育学校は出願数を，半角数字で記してください。

1-1-3. 特別支援学校は各学部の出願数を，下の学年から学部名と共に「半角数字カンマ区切り」で記してください。(小学部 10, 中学部 7, 高等部 6 など)

1-2. 以下の学校種・学年における，R6年度入園・入学選抜の「合格者数」を教えてください

1-2-1. 幼稚園は，年少，年中，年長の合格者数を，下の学年から「半角数字カンマ区切り」で記してください。該当がない学年には「0」を入れてください。

(年少 20, 年中 20, 年長なしの場合 → 20,20,0)

1-2-2. 小学校，中学校，高等学校，中等教育学校，義務教育学校は合格者数を，半角数字で記してください。

1-2-3. 特別支援学校は各学部の合格者数を，下の学年から学部名と共に「半角数字カンマ区切り」で記してください。(小学部 5, 中学部 4, 高等部 4 など)

1-3. 学校種ごとの入園・入学選抜方法について，以下の選択肢から該当するものを選んでください。(複数選択可)

①学科試験(国語的なもの) ②学科試験(算数・数学的なもの)

③学科試験(社会科的なもの) ④学科試験(理科的なもの)

⑤学科試験(外国語的なもの) ⑥実技 ⑦口頭試問 ⑧学力調査・発達検査 ⑨行動観察

⑩面接(本人のみ) ⑪面接(保護者のみ) ⑫面接(本人・保護者両方) ⑬その他()

2. 学校研究の取り組み(公開研究会等)

2-1. R5年度に公開研究発表会を開催しましたか。 ①実施した ②実施しなかった

2-2. 1で「②実施しなかった」と回答した場合，その理由を教えてください。

※これより先は「①実施した」と回答した場合，お答えください。

2-3. 実施方法を選択肢から選んでください。

- ①対面 ②オンライン（リアルタイム） ③オンライン（オンデマンド）
- ④対面&オンラインリアルタイム配信 ⑤対面&オンラインオンデマンド配信
- ⑥その他（ ）

2-4. 開催日数の合計（半角数字で回答）を記入してください。

2-5. 開催月を選択してください。（複数選択可）

- 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

2-6. 開催月の変更の検討をしていますか。

- ①検討している ②検討していない

2-7. 検討をしている理由を教えてください。（2-6で「①検討している」と回答した場合）

2-8. 公開教科等について、該当するものを以下の選択肢から選んでください。①-③は幼稚園を、④-⑧は特別支援学校を主な対象とします。（複数選択可）

- ①全クラス公開 ②一部クラス公開 ③公開クラスなし ④教育課程・指導計画
- ⑤教科学習 ⑥学習評価・授業改善 ⑦ICT ⑧キャリアプラン ⑨国語 ⑩社会
- ⑪地理歴史 ⑫公民 ⑬算数・数学 ⑭理科 ⑮生活 ⑯体育・保健体育 ⑰音楽
- ⑱図画工作 ⑲美術 ⑳技術・家庭 ㉑家庭 ㉒外国語 ㉓情報 ㉔道徳 ㉕総合 ㉖特活
- ㉗その他（ ）

2-9. 全参加者数（半角数字で回答）を教えてください。

2-10. 一般の参加者からの参加費（資料代等）の徴収はありますか。無い場合は「0」を、ある場合はその金額（半角数字のみ）を記入してください。

2-11. より多くの人に参加してもらうため工夫している点について記入してください。

【7】本調査の主旨も踏まえ、ご意見やお気づきのことがありましたらご記入ください。

※御協力ありがとうございました。

令和6年度 全国国立大学附属学校連盟・調査委員会「附属学校園の課題等に係る調査」

附属学校園の先生方へ

“地域貢献に係る調査についてのお願い”

本調査の対象除外者について

令和5年度の非常勤教員(専任でない教員)・管理職及び令和6年度に人事異動(転入・転出・R5末退職)をした方

調査委員会では昨年度、調査結果の活用を重視し、「先生方が働きやすく、生活しやすくなるための情報の集約・活用」をねらいとして調査をいたしました。先生方の業務環境の改善、学級定員、連携・支援体制に係る大学や教育委員会との連携、入試、公開研など、多岐に渡る項目のある調査実施にご協力いただきました。

昨今、附属学校園の地域への貢献が強く求められていることから、今年度は貢献の在り方について調査するとともに貢献の度合いを定量的に示し、附属学校園の存在意義を高めていくための取組につなげていきたいと考えております。そのためには先生方一人一人のご協力が必要となります。ご多用の中、誠に恐れ入りますが、本調査にご理解ご協力くださいますようお願いいたします。

※回答方法についてはとりまとめの先生の指示に従ってください。なお、エクセル表に入力する形を取る場合は必ず、半角数字で入力をお願いいたします。

地域との連携、地域貢献について

ア **令和5年度**に地域貢献活動のため実際に関わった回数の総計(延べ数)をお答えください。

※1つの研修会や会議等に2人の教員が関わった場合は“2”とカウントします。

※令和5年度の非常勤教員(専任でない教員)・管理職及び令和6年度に人事異動(転入・転出・R5末退職)をした方は除きます。

※ない場合は必ず“0(ゼロ)”と回答してください。

総計()件

イ **令和5年度**に4の地域貢献活動のため実際に関わった大凡の総時間をお答えください。

※1つの研修会や会議等に2人の教員が関わった場合はそれぞれの時間を計上します。

※活動に要したおおよその準備時間も含めてください。

※令和5年度の非常勤教員(専任でない教員)・管理職及び令和6年度に人事異動(転入・転出・R5末退職)をした方は除きます。

※分単位の扱いについては30分以上の場合切り上げます。

(例) 20時間40分→21時間 19時間25分→19時間

※ない場合は必ず“0(ゼロ)”と回答してください。

総計()時間

※地域貢献活動については以下のようなものが考えられますが、これ以外にも地域貢献活動と位置づけることができる活動がございましたら、個人の判断で調査対象としてカウントしていただいて結構です。

- ①教育委員会主催の研修の担当
- ②公開授業研究会の実施(授業者・運営の中心的役割を果たした方)
- ③研修・研究協力依頼に対する講師・出前授業など
- ④校園内研修の公開や授業公開による研修の機会の提供(授業者・運営の中心的役割を果たした方)
- ⑤研究成果(紀要等)などの発信
- ⑥地域の学校教育・家庭教育のシンクタンク・実践センター的な役割
- ⑦教科以外のいじめ問題への対応、生徒指導、基本的生活習慣の育成、学校マネジメントなどについての発信
- ⑧教育委員会・学校・教科団体等における地域の教育推進に係る会議等への出席

※御協力ありがとうございました。

